

空の心臓

雪が無言のまま降り続けている
腑に落ちない思いで
暖かい冬に

あの冬の空は
クリスマスのようだった
ビルの隙間から垣間見える空は
切り裂かれた心臓のようだった
雪は沈黙のまま
降り続けた
いつまでもいつまでも
次第に人々を包み込むように

ただ不思議と少しも寒くはなくて
雪は真実を封じるように降り続けた
あたりが真っ白になると
全てが正しくなった

未だ無言のまま降り続けている
幾つもの穏やかな冬が訪れても
雪は無言のままに

深雪